

松下記念病院 小児科で肺炎マイコプラズマ遺伝子検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

小児肺炎マイコプラズマ感染症に関する調査(2)へのご協力をお願い

このたび、松下記念病院 小児科では、小児肺炎マイコプラズマ感染症に関する多施設研究を実施いたします。

研究の目的：肺炎マイコプラズマ感染症は、小児を中心として集団生活の中で流行する病原体による感染症です。従来はマクロライド系抗菌薬という特定の抗菌薬による治療が有効とされてきましたが、近年はそれに対する耐性菌種が増加していることが問題となっています。当院では、患者様の「のど」を擦過したスワブ検体を用いた肺炎マイコプラズマの検出・診断に併せ、PCR法という「同病原体に対する遺伝子解析」によるマクロライド抗菌薬に対する耐性遺伝子の有無を解析しています。今回、その検査の精度を確認するべく、多施設で共同研究を行います。

研究の方法：本研究の承認日以降、当院で上記肺炎マイコプラズマ肺炎と遺伝子学的に診断された患者様が対象となります。検査過程で生じた廃棄試料物の一部を筑波メディカルセンター病院へ郵送し、病原体についての遺伝子解析を行います。研究に用いられる情報としては、患者様の診断日と年齢です。研究に用いられる情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。個人を特定できる情報を削除した記録媒体を用い、研究責任者が保管・管理します。研究期間は承認日から平成30年11月30日までです。

研究組織：筑波メディカルセンター病院 鈴木 広道

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、松下記念病院医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 松下記念病院 小児科

部長・磯田 賢一

電話：06-6992-1231